

## 資 料

平成18年7月24日(月)13時から  
在日米軍再編に係る対策特別委員会資料

- 1 在日米軍再編に伴う訓練移転に関する緊急要望書 . . . . . 別紙1
- 2 在日米軍再編に伴う訓練移転についての市民説明会日程 . . . . . 別紙2
- 3 平成18年度千歳市一般会計補正予算(第4回) . . . . . 別紙3
- 4 8月市民カレンダー号外について . . . . . 別紙4

在日米軍再編に伴う訓練移転に関する

緊 急 要 望 書

千 歳 市

## 在日米軍再編に伴う訓練移転に関する緊急要望について

在日米軍再編にかかる千歳飛行場への訓練移転につきましては、7月7日(金)、「訓練移転の受け入れはやむを得ない」と判断したものであります。

今後、この判断を以って市民説明会を行います。国との協定締結や騒音対策の推進、地域振興策などの実施が、市民の理解を得るための大変重要なポイントと考えております。

つきましては、国におかれましては、住民の不安や懸念を払拭するための協定の締結と、平成19年度の予算編成に向けた事業として、次の各種事項の実現について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 協定の締結
- 2 住宅防音工事(新規・追加)の待機世帯の解消
- 3 防音建具機能復旧工事の待機世帯を3ヶ年で解消
- 4 訓練に伴う騒音値の情報提供のための騒音情報公開システムの設置検討
- 5 青葉地区の騒音測定局の新設
- 6 訓練移転対応窓口の充実
- 7 各種周辺整備対策事業の実施
- 8 再編交付金の創設
- 9 特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額
- 10 現行の基地周辺対策予算の確保

平成18年7月11日

千歳市長 山口 幸太郎

(要請項目)

1 協定の締結

これまで協議してきた訓練移転に伴う安全・安心対策、騒音対策、地域振興策、さらには、使用条件である年間の使用日数 60 日以内を維持することなどを明記した協定の締結を確実に実行していただきたい。なお、平成 20 年度以降の予算編成にかかる地域振興策については、協定締結までに協議をさせていただきたい。

2 住宅防音工事（新規・追加）の待機世帯の解消

住宅防音工事は、騒音軽減対策として最も有効な対策であり、重点課題としてとらえておりますが、平成 17 年度末現在で、約 350 件の待機が発生しています。これらの待機状況を早急に解消していただきたい。

3 防音建具機能復旧工事の待機世帯を 3 ヶ年で解消

防音建具機能復旧工事については、平成 17 年度末現在で、約 1,800 件の待機が発生しております。

これまでの工事対象は、昭和 54 年頃までに実施している家屋となっており、建物の老朽化に加え、建具の製造年が古く交換部品が生産中止となっている場合もあり、早急な対応が必要でありますことから、平成 19 年度から 3 年間を目途としてこの待機状況を解消していただきたい。

4 訓練に伴う騒音値の情報提供のための騒音情報公開システムの設置検討

行政情報の公開は、現在の行政運営上必要不可欠でありますことから、市民が訓練に伴う騒音発生状況などをリアルタイムで公開できる情報公開システムを構築していただきたい。

## 5 青葉地区の騒音測定局の設置

航空機騒音の把握に向けて、騒音直下地域である青葉地区に騒音測定局を設置していただきたい。

## 6 訓練移転対応窓口の充実

このたびの訓練移転に際しては、事故、事件等の未然防止に向け、米国側に対して引き続き安全管理や綱紀粛正の徹底を求めていくとしており、あわせて、訓練期間中、局職員を現地に配置し対応に万全を期していくとしておりますが、万が一米軍人と住民との間にトラブルが発生した際には、迅速に対処できるよう対応窓口を充実するとともに、英語や事故処理に堪能な職員を配置していただきたい。

## 7 各種周辺整備対策事業の実施

平成19年度重点事業として、次の事業を採択していただきたい。

- ・水道施設整備事業
- ・破碎処理場改修（更新）事業
- ・北陽小学校増築事業

## 8 再編交付金の創設

現在、国においては、在日米軍再編にかかる関係自治体に対する「再編交付金」の創設を検討されていると仄聞しております。

逼迫する地方財政において防衛施設の安定的な運用を維持するうえからも、地域振興策等に充当可能な財源となるよう、相応額の確保とともに、使途についても緩和を図っていただきたい。

## 9 特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額

在日米軍再編に伴う訓練移転が行われた場合には、様々な財政負担が生ずることから、特定防衛施設周辺整備調整交付金を増額していただきたい。

さらに、平成14・15年度の東側滑走路の改良と改良後の不具合により、市街地に近い西側滑走路の使用頻度が高くなっており、騒音被害が甚大となっておりますことから、引き続き、ご配慮をいただきたい。

## 10 現行の基地周辺対策予算の確保

先の閣議決定においては、在日米軍の再編に関し、「法制面及び経費面を含め、再編関連措置を的確かつ迅速に実施するための措置を講ずる」としておりますが、他方、「政府全体として一層の経費節減・合理化を行う中で、防衛関係費においても思い切った合理化・効率化を行う」としております。

現行の基地周辺対策予算は、防衛施設周辺住民の生活環境の整備に大きく寄与しておりますことから、在日米軍の再編に伴い減額されることのないよう、所要額の確保についてご配慮をいただきたい。

## 在日米軍再編に伴う訓練移転についての市民説明会日程について

## 1 日 程

日 程	場 所
7月30日(日) 午後6時から	鉄東コミュニティセンター
8月 2日(水) 午後7時から	富丘コミュニティセンター
8月 9日(水) 午後7時から	泉沢向陽台コミュニティセンター
8月10日(木) 午後7時から	市民文化センター4階大会議室

## 2 周知方法

市民カレンダー8月号の号外、市役所だより、市のホームページに掲載

## 平成18年度千歳市一般会計補正予算（第4回）

- 1 補正理由 協定の締結や騒音対策、地域振興策等などについての協議等に係る旅費及び市民への情報提供のための広報号外の発行などに要する関係経費

## 2 補正予算額（歳出）

(款) 総務費

(項) 総務管理費

(目) 基地費

(節) 旅費 883千円

需用費 463千円

役務費 567千円

(合計 1,913千円)



## 国の取組方針(国と千歳市が確認している内容)

### ◎ 協定の締結

- 協定締結時期：移転訓練実施までに締結
- 締結者：札幌防衛施設局長と千歳市長

#### ① 千歳基地の位置づけ

- ・ 地位協定第2条4項b(国が管理し米軍が一時使用する)に基づく施設とする。

#### ② 市民の安全・安心対策

- ・ 国は、共同訓練期間中における事故・事件に適切に対処するため、関係機関との間で連絡体制を整備する。
- ・ 万が一、事故・事件が発生した時は、速やかに関係機関に対し事実を詳細に報告するとともに、国が責任をもって対応する。
- ・ 札幌防衛施設局職員を千歳市に派遣し、共同訓練期間中における行政機関への連絡や周辺住民への対応などにあたる。

#### ③ 生活環境の整備

- ・ 国は、千歳飛行場周辺における騒音対策及び地域振興策等について、千歳市の要望を踏まえ、所要の措置を積極的に講ずる。

#### ④ 訓練の概要

- ・ 訓練の形式は、航空自衛隊との共同訓練とする。
- ・ 基地使用の態様については、日米合同委員会合意による現在の使用条件のうち、年約4回の訓練回数の制限は撤廃するが、訓練1回あたりの日数約3日から20日まで、年間60日以内については維持する。
- ・ その他の態様については、共同訓練に参加する航空自衛隊と同様の態様とする。

#### ⑤ 地元への情報提供

- ・ 国は、共同訓練の計画について千歳市に対して事前に通知する。

### ★ 別途文書確認事項《航空自衛隊と同様の態様の内容》

- ① 現在、航空自衛隊は、千歳基地周辺市街地に対する航空機騒音の影響を局限するような運用を実施している。その内容は以下のとおりである。

- ・ 特に静穏を要する全市民的な行事については、任務に支障のない範囲において飛行訓練を中止する。
- ・ ジェット機の西側旋回については、管制機関と協議し安全上やむを得ない場合を除き行わないことを原則とする。
- ・ 従来から実施している自主規制については今後も継続的に実施する。

- ② 土・日曜日、祝祭日について、航空自衛隊は、基本的には訓練は実施していないが、任務遂行等必要な場合は飛行訓練を行うことがある。今後の移転訓練については、今後、日米間で具体的な訓練計画を策定するが、訓練の自粛を求めている千歳市の要望を念頭において、具体的な訓練計画の策定に際して調整していく。

千歳市長  
山口 幸太郎 殿

札幌防衛施設局長  
土屋 龍



米軍機による千歳基地への訓練移転について

貴職におかれては、日頃より、防衛施設行政に対しご理解、ご協力を頂き深く感謝申し上げます。

さて、5月1日の日米安全保障協議委員会において、「再編実施のためのロードマップ」が合意され、同月30日、「在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組について」が閣議決定されました。

つきましては、嘉手納飛行場等の米軍機の千歳基地への訓練移転に関する当職の考え方は、下記のとおりですので、事情ご賢察の上、ご理解、ご協力方お願い申し上げます。

#### 記

- 1 千歳基地への訓練移転に関する貴職と当職との間の文書の締結については、貴職のご要望を承りつつ、移転訓練実施前までに締結できるよう、前向きに努力いたします。
- 2 貴職が懸念されている深夜、早朝、土・日曜日及び祝祭日等の米軍の訓練については、日米間の合意により、航空自衛隊と同様の態様で実施されるものと承知していますが、訓練実施に際しては、当局から米側へ申し入れたいと考えております。
- 3 移転訓練に際して、当局としては、貴市を始めとする関係機関等と連絡協議会を設置いたしたく、同協議会へのご参加方お願い申し上げます。
- 4 「在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組について」(閣議決定)において、再編関連措置を実施する際に、地元地方公共団体において新たな負担を伴うものについては、かかる負担を担う地元地方公共団体の要望に配慮し、我が国の平和と安全への大きな貢献にこたえるよう、地域振興策等の措置を実施するものとされております。当局としては、この閣議決定に従い、貴市から周辺対策等のご要望があれば、その実現に向けて最大限努力してまいります。

### ◎ 騒音対策の実施

- ① 防音建具機能復旧工事等については、予算枠を増額確保し、待機者の早期解消を図る。
- ② 告示後住宅については、今後、騒音度調査を実施し、この結果に基づいて騒音区域の見直しを行ったうえで、対象となる住宅について防音工事を実施する。
- ③ 市民に対する情報提供の一貫として、飛行訓練に伴う騒音発生状況を閲覧できる騒音情報公開システムの設置に向けて検討する。

### ◎ 事故・事件の対策

- ① 協定内容に記載のとおり、市民の安全・安心対策を確実に実施する。
- ② 札幌防衛施設局、北海道、北海道警察本部、千歳市など地元関係自治体を構成メンバーとして連絡協議会を設置する。
- ③ 連絡協議会において、事故・事件に関する対応体制の整備及び訓練計画に関する情報提供、訓練結果を踏まえた課題等について協議する。

### ◎ 地域振興策の実施

- ① 閣議決定において、再編関連措置を実施する際に、新たな負担を担う地元自治体の要望に配慮し、地域振興策等の措置を実施するものとしている。国としては、新たな法制度を整備したうえで、交付金の創設などを検討している。
- ② 千歳市の周辺対策等の要望を踏まえ、実現に向けて最大限努力する。

## これまでの主な経過

- 3月21日 国から、日米間で協議中の訓練移転についての概要が示される。
- 4月26日 国から飛行回数等の試算、騒音・治安・事故などの不安に対する取組方針が示される。
- 5月1日 在日米軍の再編について、日米安全保障協議委員会、最終合意。
- 5月8日 国から、最終合意の内容について説明を受ける。
- 5月22日 市議会において、全議員による議員協議会が開催され、国の職員と議員の間で直接質疑応答。
- 5月30日 国において、在日米軍の再編にかかる基本方針について、閣議決定。

- 6月28日 国から、訓練移転にかかる協定等の取組方針が示される(左記)。

協定の締結により、仮に今後、国が協定内容の改正を意図した場合にあっても、市は国と対等に協議できることとなります。

また、「①千歳基地の位置づけ」や「使用条件のうち、年間60日以内については維持する」等を協定に明記することにより、懸念の一つであった米軍基地化を防ぐ根拠ともなります。

# 在日米軍の千歳飛行場への訓練移転問題について

【問い合わせ先】千歳市役所空港・基地課  
(24) 3131内線234



# 山口幸太郎 市長の決断

..... 在日米軍再編に係る訓練移転問題に対する千歳市長の判断

平成十八年七月七日

千歳市議会  
在日米軍再編に係る  
対策特別委員会での  
市長の発言

▼市長がやむを得ない旨を表明した市議会特別委員会

在日米軍の再編に係る訓練移転問題につきましては、騒音の加重が避けられないなど、誰もが快く歓迎する案件とはなり得ず、受け入れに対する反対意見もあるなかにありまして、国の専管事項に関するものであり、極めて難しい判断が求められてきたところであります。

また、再編に係る基本方針等は、すでに日米合意を経て、閣議決定され、政府一体となって取り組むとの方針が明確となっており、国は、この着実な実施を目指しているところでありますが、私といたしましては、この事実を受け止めたうえで、地元自治体が求める対策などが反映されない状況下での訓練実施だけは、避けなければならぬものと受け止めてきたところであります。

国防への協力と沖縄の負担軽減  
協定の締結と各種対策の実施  
防衛施設とともに発展してきたまち

..... 訓練移転の受け入れは  
やむを得ないものと判断



このようなことから、私は、市民の皆さんの意見はもとより、議会審議の経過などを踏まえるとともに、国防が国の重要な政策であることを認識した中で判断をしなければならぬものと考えてきたところであります。

こうした基本認識のもとで、これまで防衛庁、防衛施設庁及び札幌防衛施設局と進めてまいりました協議におきまして、国と千歳市における協定の締結、騒音対策の推進、事故・事件に対する国の責任ある対応、関係機関による連絡協議会の設置、市の要望を踏まえた地域振興策の実施が確認できたことなどから、訓練移転の受け入れはやむを得ないものと判断するものであります。

この判断に至った主な理由であり  
ますが

一つは、不安定な国際情勢のなかにあつて、国防に関する基本的な政策に基づくものであり、地方自治体はこれに協力する必要があること。

二つには、沖縄の負担軽減は同じ国民の一人として重く受け止めており、可能な限り負担の軽減に努める必要があること。

三つには、騒音の加重、事故の発生、米軍人による事件など治安面での不安、まちづくりへの影響などの懸念事項に対しましては、完全に不安を払拭することは難しいものの、国と千歳市による協定の締結とその順守、各種対策等の実施などにより、一定程度、解消や緩和が図られること。

四つには、自衛隊が駐屯して五十年を超える歴史のなかで、防衛施設の安定的な設置運用に理解を示し、国防の一翼を担いながら発展してきたまちづくりの経過を踏まえた判断が求められていることなどであります。

繰り返しになりますが、私は、この訓練移転につきましては、市民の皆さん誰もが快く歓迎する案件とはならないことは十分に受け止めておりますので、これまで国と協議をしてまいりました対策等が確実に実施されるよう、額賀防衛庁長官、北原防衛施設庁長官と直接面談し、要請をしてまいりたいと考えております。

以上、この問題に対します私の判断について申し述べましたが、この問題は、市民の皆さんの理解と協力を得ることが何よりも重要であると考えておりますので、今後、市民説明会などを通じて、最大限努めてまいります。

## 市民説明会の開催日程

下記の日程で、説明会を開催いたします。  
どの会場でも自由に入場できます。

日 程	会 場
7月30日(日) 午後6時から	鉄東コミュニティセンター
8月2日(水) 午後7時から	富丘コミュニティセンター
8月9日(水) 午後7時から	泉沢向陽台コミュニティセンター
8月10日(木) 午後7時から	市民文化センター 4階大会議室